

## 太陽系の元素組成上位10種類

原子番号	元素	組成
1	H (水素)	$2.79 \times 10^{10}$
2	He (ヘリウム)	$2.72 \times 10^9$
8	O (酸素)	$2.38 \times 10^7$
6	C (炭素)	$1.01 \times 10^7$
10	Ne (ネオン)	$3.44 \times 10^6$
7	N (窒素)	$3.13 \times 10^6$
12	Mg (マグネシウム)	$1.074 \times 10^6$
14	Si (ケイ素)	$1.00 \times 10^6$
26	Fe (鉄)	$9.00 \times 10^5$
16	S (イオウ)	$5.15 \times 10^5$

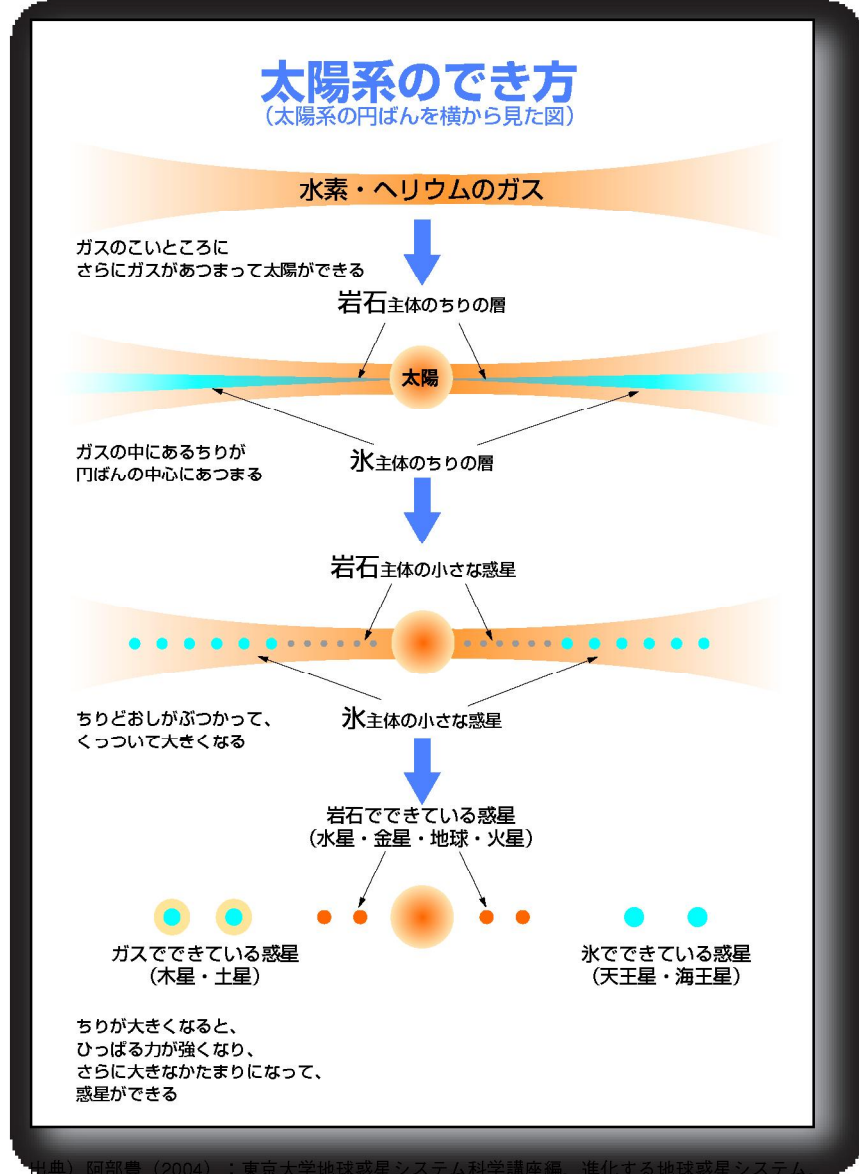
注：ケイ素を $10^6$ あるとしたときの原子数比  
出典) 理科年表 (平成16年), 丸善

## 地球上の水の量

水の存在形態	体積(km <sup>3</sup> )	体積比(%)
海洋	1,338,000,000	96.539
氷河・万年雪	24,064,100	1.736
地下水	23,400,000	1.688
永久凍結層地域の地下の水	300,000	0.0216
湖水	176,400	0.0127
土の中の水 (土壌水)	16,500	0.0012
大気中の水	12,900	0.0009
湿地の水	11,470	0.0008
河川水	2,120	0.0002
生物中の水	1,120	0.0001
合計	1,385,984,610	

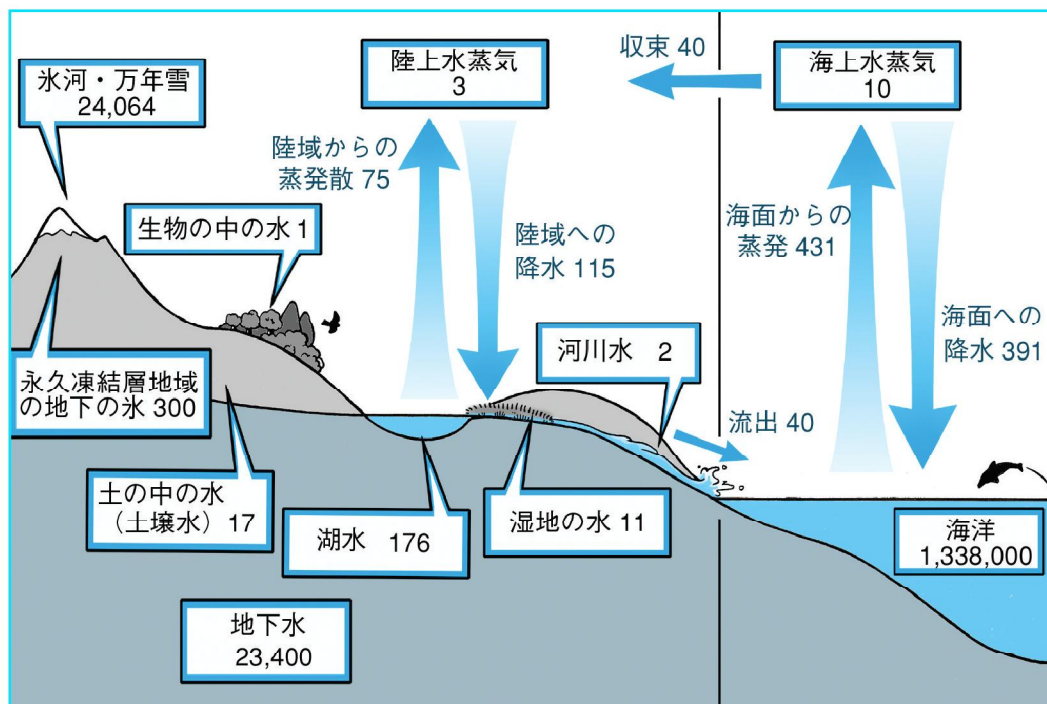
出典) Oki T.(1999)In:Browning K.A and Gurney R.J. eds.,Global Energy and Water Cycles,Cambridge University Press

## 太陽系形成の概観



出典) 阿部豊 (2004)『東京大学地球惑星システム科学講座編 進化する地球惑星システム』(図1を改変), 東京大学出版会

## 地球上の水循環と水収支



(□)の中の数字は存在量。単位はkm<sup>3</sup>、矢印のところの青数字は移動量。単位はkm<sup>3</sup>/年)

出典) Oki T.(1999)In:Browning K.A and Gurney R.J. eds.,Global Energy and Water Cycles,Cambridge University Press